

エルサルバドル政治経済月報 (2022年7月分)

2022年8月
在エルサルバドル大使館

内政

1. 米国による対中米北部三か国支援に対する条件付け

7月8日-11日付の当地主要各紙は、米国2023年度予算における対中米北部三か国（エルサルバドル、グアテマラ、ホンジュラス）支援予算の一部に条件が課される旨報じた。報道によれば、本年6月に本件支援予算として総額2億4千万ドルが計上されたが、同予算の60%の拠出に関しては、支援対象国が人権を尊重し、法治国家の強化や貧困対策、汚職問題及び不処罰問題への対応を行うことが条件付けられた。条件付けがなされた予算は、経済支援と治安関連の支援にかかるものとされている。

2. ブケレ大統領の連続再選の可能性に向けた動き

(1)7月8日、ウジョア副大統領がリーダーを務める憲法改正についての検討を行う作業チームのムニョス書記がテレビ番組に出演し、昨年8月に同チームが発表した憲法改正草案に、大統領の連続再選を可能とする条項を追加することを検討している旨述べた。ムニョス書記は、昨年9月に最高裁憲法法廷が、従来の憲法解釈とは異なり、大統領選挙日の6か月前に大統領職を辞任していれば、現職の大統領が次期大統領選挙へ出馬することを可能とする判決を下したことを踏まえ、憲法改正草案も同判決を尊重した内容にする必要があるためと説明した。

(2)7月12日、最高選挙委員会（TSE）のオレジヤナ委員はテレビ番組に出演し、TSEは連続再選を可能とする最高裁憲法法廷による昨年9月の判決を遵守することになるとの見解を示した。同委員は、TSEを構成する委員全員が最高裁憲法法廷の判決に同意しているわけではないが、憲法解釈を行う同法廷の判決に他の機関は従う必要があり、TSEが大統領の連続再選を妨げるような事態にはならないと述べた。また、同委員は、2024年の選挙は、大統領選挙、国会議員選挙、全国市長選挙、中米議員選挙が行われ、さらには、在外エルサルバドル人による電子投票の解禁も予定されることから、従来経験したことのない選挙運営オペレーションを要するものとなるため、大統領選挙と他の選挙の投票日を二つに分ける案も検討されている旨明らかにした。

3. ファブランド・マルティ民族解放戦線（FMLN）の2024年選挙への参加可能性

7月13日、テレビ番組に出演した野党ファブランド・マルティ民族解放戦線（FMLN）政治委員会のアルグエタ氏は、FMLNは、2024年の統一選挙（大統領選挙、国会議員選挙、全国市長選挙、中米議員選挙）に参加するかどうかはまだ決めておらず、党員の総意によって決められる旨述べた。2021年の国会議員選挙において同党は国会の議席数を23から4に減らすという大敗を喫し、また、同時に行われた全国市長選挙においても、全国262の市長職のうち、61市長職から30市長職に半減するという結果に終わった。また、その後、ラパス県のタパルアカ市、サンアントニオ・マサウアット市の市長がFMLNから離党している。

4. 汚職者リスト「エンゲル・リスト」の更新

7月15日、米国政府が更新した、中米北部三か国の汚職者リスト、「エンゲル・リスト」の中に、セラヤ財務大臣（注：その後、削除された）、ゲバラ政権与党新思想党（NI）会派長、アルグエタ大統領府法律顧問、サナブリア大統領府広報局長といったブケレ政権関係者が含まれた。

5. 国民共和同盟（ARENA）のダビットソン元党首の死亡

(1)7月21日、エルサルバドル検察庁は、同日に自宅捜査を行った Centrum 社敷地内で、国民共和

同盟（ARENA）のダビットソン元党首が遺体で発見された旨発表した。検察庁によると、当局職員が Centrum 社敷地内に入ったところ、銃声の音がし、その後、ダビットソン元党首の遺体を発見、自殺したものと見られている。

(2) 元党首を巡っては、2019 年 11 月、ブケレ大統領がメリーノ国防大臣に対し、同元党首が関与したエルサルバドル軍への武器販売に関し、不正行為があった旨を検察庁に対し訴えるように指示し、同月、同元党首が主要株主である Centrum 社に対する訴えが受理されていた。この流れを受け、2020 年 2 月、当時 ARENA の党首を務めていたダビットソン元党首は、自身に向けられている武器の違法販売疑惑が党のイメージを害することを避けるために、党首職を辞職していた。

(3) 検察庁によれば、ダビットソン元党首が捜査に必要な書類の提出を拒んだため、司法手続きに基づき、Centrum 社への家宅捜査が実施されたとのこと。

6. スウェーデン V-Dem 研究所による民主主義レポート 2022 年版

報道によれば、スウェーデンのヨーテボリ大学に設置されている V-Dem 研究所が毎年発表している民主主義レポートの 2022 年版において、エルサルバドルは専制体制 (regimen autocratico) に分類された。同レポートではエルサルバドルは民主主義が最も衰退した国の一つと位置づけられており、評価指標 6 項目のうち 4 項目で、エルサルバドルは数値を落とす結果となったとしている (全ての指標の最高点は 1 点)。

- (1) 自由な民主主義: 0.21 点: 119 位 (前年 87 位)
- (2) 選挙民主主義: 0.47 点: 97 位 (前年 77 位)
- (3) 自由な構成要素: 0.30 点: 146 位 (前年 100 位)
- (4) 平等な構成要素: 0.32 点: 141 位 (前年 162 位)
- (5) 市民参加: 0.50 点: 108 位 (前年 108 位)
- (6) 熟考的な構成要素: 0.39 点: 134 位 (前年 121 位)

外交

1. ヒル外務大臣のヨーロッパ訪問

(1) WFP 事務局長との会談

7 月 1 日、ヒル外務大臣はイタリアのローマにて、ビーズリー国連世界食糧計画 (WFP) 事務局長と会談、WFP による食料安全保障に係る 1 億 2,920 万ドル対エルサルバドル支援に署名が行われた。同外務大臣は、WFP による支援は食料安全保障及び格差是正の分野において、大きなインパクトをもたらすものであるとして、謝意を述べた。ビーズリー事務局長は、ブケレ政権は、とりわけ COVID-19 による影響から若者たちの生命を守ること及び気候変動にコミットしているとして、そのリーダーシップを評価し、WFP はより多くの人々を支援するために、できることをしていかなければならないと述べた。

(2) イベロアメリカ事務局長との会談

7 月 6 日、ヒル外務大臣は、アラマンド・イベロアメリカ事務局長と会談し、両者が共有するイニシアティブについて意見交換を行った。ヒル外務大臣は、イベロアメリカ事務局が 11 のプログラムを通じて行っているエルサルバドルへの支援に対し謝意を表明した。これらプログラムには、教育、文化、識字教育、生涯教育、科学・技術、産業促進、南南協力の強化等の分野が含まれている。また、エルサルバドルはイベロアメリカ都市戦略開発センター (CIDEU) が実施する公務員養成や若者支援に係る 4 つのプログラムの恩恵を受けている。

(3) ルクセンブルク協力・人道支援大臣との会談

7 月 8 日、ヒル外務大臣は、ファイヨ・ルクセンブルク協力・人道支援大臣と会談し、ルクセンブルクはエルサルバドルにとっての歴史的なパートナー国であり、エルサルバドルの発展の目的達成のための重要な同盟国であると述べた。また、同大臣は、ブケレ政権の取り組みはエルサルバドルの最も弱い立場の人々に向けられたものであり、同取り組みを進めていくためにルクセ

ンブルクのような友好国との関係を強化しており、このようなブケレ政権の取り組みについて説明を行うために、同国政府ハイレベルとの会合を実施した旨説明した。また、両者は、二国間協力合意の枠組みでルクセンブルク開発協力庁によって実施されているプロジェクトについて確認した。ヒル外務大臣からは、ルクセンブルクによる対エルサルバドル協力案件は、社会包摂、市民団体支援、地域の経済開発等の分野におけるものであるとして謝意が述べられた。

2. ウジョア副大統領の国連訪問

(1) グテーレス国連事務総長との会談

7月12日、ウジョア副大統領はグテーレス国連事務総長と会談し、エルサルバドルにおける犯罪組織対策である犯罪地域コントロール計画及び憲法で保障される権利の一時的制限措置について意見交換を行った。ウジョア副大統領はブケレ大統領からの個人的なメッセージをグテーレス国連事務総長に伝達し、エルサルバドルにおいて他国では見られないめざましい成果を挙げている犯罪地域コントロール計画について研究するために、国連が調査団をエルサルバドルに派遣してはどうかと提案した。これに対しグテーレス国連事務総長はウジョア副大統領からの提案を受け入れ、今後数か月の間に調査団をエルサルバドルに派遣する旨述べた。

(2) アブドゥラ・シャヒッド国連総会議長との会談

7月12日、ウジョア副大統領はアブドゥラ・シャヒッド国連総会議長と会談し、エルサルバドルのSDGs報告書に関し意見交換を行った。同副大統領は、2回目となる今回の報告書は、エルサルバドルが持続可能な開発のための国家戦略を強化している証左であると説明した。これに対しシャヒッド国連総会議長は、ガブリエラ大統領夫人のリーダーシップによって進められている国連における9つの授乳室の設置について賞賛した。

(3) 持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラムへの参加

7月13日、ウジョア副大統領は、持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラムに参加し、エルサルバドルのSDGsの取り組みについてまとめた報告書に関して以下のとおり説明を行った。

ア エルサルバドルはSDGsの達成にかつてないほどコミットしており、持続可能な開発の実現のためには、2015年第70回国連総会決議の前文で示された5つの軸（人間、地球、繁栄、平和、パートナーシップ）を遵守することが不可欠である。

イ エルサルバドルとしては、17のSDGs目標のうち、「16. 平和と公正をすべての人に」、最も優先度の高い戦略的な目標であると述べた。

ウ 犯罪地域コントロール計画の成果により、エルサルバドルにおける人口10万人あたりの殺人件数は、2021年は前年の103人から18人まで減少しており、地域で最も殺人件数の少ない国となっている旨説明した。

エ エルサルバドルのSDGsへの取り組みに関し、62%の指標がポジティブな結果を示しているとし、同取り組みをさらに進めていくためには、現在の取り組みを継続すると共に、残りの26%についてもポジティブな結果をもたらすために、政策を修正していく必要があると述べた。

オ SDGsへの取り組みをモニタリングするために、イノベーション局によってデジタルプラットフォームが導入されている旨説明した。

3. エルサルバドル・グアテマラ外相会談

7月20日、ヒル外務大臣は、エルサルバドルを訪問中のブロロ・グアテマラ外務大臣との間で、エルサルバドル・グアテマラ二国間の貿易促進及び情報交換に係る協力合意に署名した。両大臣は、両国の経済の活性化及び発展に資するアクションを通じてもたらされる共通の利益及び互惠関係の原則に基づき、両国間の貿易促進に取り組んでいくことの重要性を強調した。今回の協力合意を通じて、二国間の貿易促進に関連する政府機関職員への研修プログラムや、研修生の相互受け入れなどが行われることとなる。両大臣は、今回の協力合意は、食料安全保障、農業、投資、新型コロナウイルス対策など昨今の国際情勢が直面する課題に対応する内容である旨述べた。また、両大臣は、地域の経済・社会発展に資する税関統合の進捗具合について言及した。ヒル外務大臣は、兄弟国であるエルサルバドルとグアテマラは、地域、そして、世界に対し、声を

上げていかなければならないと述べた。ブロロ外務大臣は、エルサルバドルの地域統合におけるリーダーシップを賞賛すると共に、グアテマラは、友好国であるエルサルバドルと他国にない緊密な関係を築いていると述べた。さらに、両大臣は、二国間をつなぐインフラ整備や移民問題についても意見交換を行った。

経済

1. 2022年第1四半期のGDP及び経済見通しの発表

(1) 6月30日、エルサルバドル中銀(BCR)は、2022年第1四半期におけるGDP成長率がプラス2.4%を記録した旨を発表した。またBCRは、本年の経済見通しを前回の発表から下方修正し、プラス2.6%(前回発表値よりマイナス0.6%)とした。

(2) ロドリゲスBCR総裁は、ウクライナ危機、世界経済及び主要貿易相手国の経済成長の減速といった外的要因が、エルサルバドルの経済成長に歯止めをかけていると述べる一方、同総裁は、エルサルバドル政府の世界的な経済危機に対する11の経済政策が、本年第2四半期からの経済成長に寄与し得るとの見方を示した。

2. エルサルバドル政府のビットコイン購入

(1) 6月30日、ブケレ大統領は自身の公式ツイッターにて、エルサルバドル政府が80ビットコインを購入した旨投稿した。同投稿にはビットコインの購入履歴を示した画像と共に、「安く購入できたことに感謝する」等のメッセージが添えられた。

(2) 同投稿によれば、エルサルバドル政府は1ビットコインあたり19,000ドルの際に80ビットコインを購入したと見られ、同購入費用に約150万ドルが充てられたとされる。

3. 2022年上半期の税収額発表

(1) エルサルバドル財務省は、2022年上半期における税収額が36億6,160万ドル(前年同期比プラス18.9%)を記録した旨を発表した。右税収額は、財務省が予想していた33億5,670万ドル(前年同期比プラス9.1%)を上回る結果となった。

(2) 2022年上半期における税収額のうち所得税及び付加価値税(IVA)が、それぞれ46.9%及び42.6%を占め、所得税は17億1,917万ドル(前年同期比プラス32.5%)、IVAは15億6,180万ドル(前年同期比プラス5.5%)となった。又、輸入関税は1億5,220万ドルを記録し、前年同期比でプラス1,990万ドルとなった。

(3) 物品税においては、アルコール製品の税収額が1,470万ドル(前年同期比マイナス36.5%)を記録した一方で、ビール系飲料の税収額が5,350万ドル(前年同期比プラス32.6%)を記録した。また、燃料購入の際にかかる税金の1つである経済安定・推進基金(FEFE)は、本年3月からの免除により、マイナス44.3%を記録した。

4. 最低賃金引上げに対する補助金の延長要請

(1) 報道によれば、エルサルバドル商工会議所(CAMARASAL)のハスブン会頭は、7月に期限を迎える、中小・零細企業を対象とする最低賃金引上げに対する補助金の延長を経済省及びエルサルバドル開発銀行(BANDESAL)に要請した

(2) ハスブン同会頭は、補助金のような支援が失われた場合、中小企業は生産コストや原材料費の上昇のみならず、賃金引上げ分も負担する必要があることから、状況は複雑になる旨指摘し、さらには、仮に補助金の延長が実施されない場合、失業率は上昇する可能性があるとも述べた。

5. 米大手投資銀行モルガン・スタンレーによる財政状況の見方

(1) 報道によれば、米大手投資銀行の1つであるモルガン・スタンレーは、エルサルバドルの財政状況は必ずしも健全とは言えないとしつつも、エルサルバドル国債に対する評価は改善する見込みがあると同時に、市場は他の新興国と比較して、エルサルバドルを過度に罰しているとの見

方を示した。

(2) エルサルバドルは83億3,800万ドルのユーロ債を抱えており、最大の懸念は、IMFとの借款交渉が成立していない中で2023年1月に償還を迎える8億ドルのユーロ債とされているなか、同投資銀行は、エルサルバドルが好調な税収額を記録していることから、12か月先までの支払い能力は有しているとの見解を述べた。加えて、アルゼンチン、エジプト、ウクライナと比較し、エルサルバドルのユーロ債は償還までの年数が短い点を挙げた。

(3) 他方、同投資銀行はエルサルバドルの財政状況はこれまで以上に悪化しており、公的債務残高(非金融公的部門)はGDP比80%を占め、財政赤字は拡大し、さらには利子の支払い額が税収の20%に達しているとも分析した。また、同銀行はエルサルバドル政府が市場で相当な信頼を失っている要因の1つとして、IMFとの借款が成立していない点を挙げた。

(4) モルガン・スタンレーは、財政再建のための最も現実的なシナリオは2年間に亘るGDP比4%から5%の範囲での財政調整としているが、過度な財政改革は極めて過酷であり、2024年に選挙を控える中、現政権の評判を落とす可能性があるとした。

6. IMF 特別引出権 (SDR) の行使及び BCIE からの借款と国債の早期償還

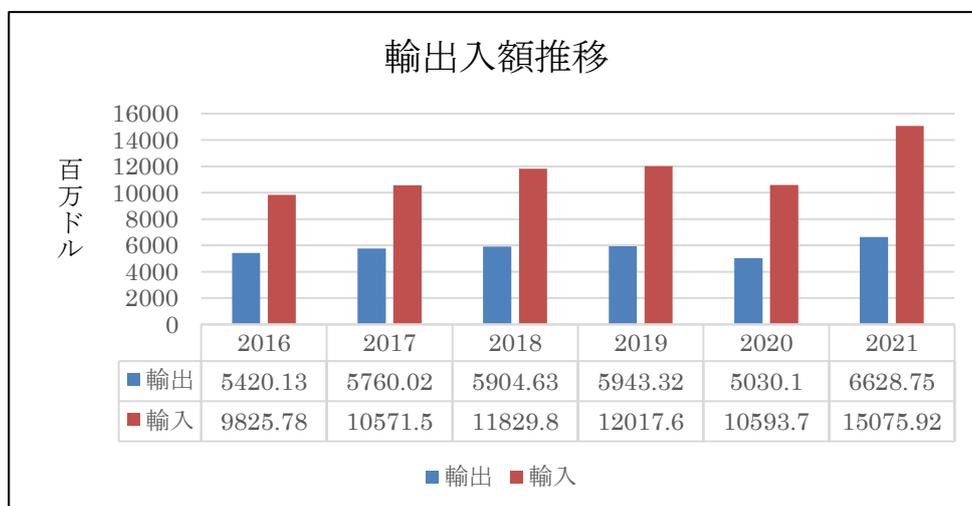
(1) 7月26日、国会は、2023年及び2025年に償還予定の計16億ドルの国債に係る資金確保と早期償還のために、IMF特別引出権(SDR)の行使、及び中米経済統合銀行(BCIE)からの2億ドルの借款に係る法案を可決した。

(2) 2021年8月にIMFからエルサルバドルに割当てられた特別引出権は2億7,500万SDRであり、7月26日のレートによれば、右額は約3億6,020万ドルに相当する。BCIEからの借款額を合わせれば、約5億6,000万ドルが直近の国債の償還のために充てられるとされる。国債市場は同法案の可決に反応し、特に2025年償還予定の国債価格は1ドルあたり0.30ドルで取引されていたものの、0.50ドルまで上昇する結果となった。

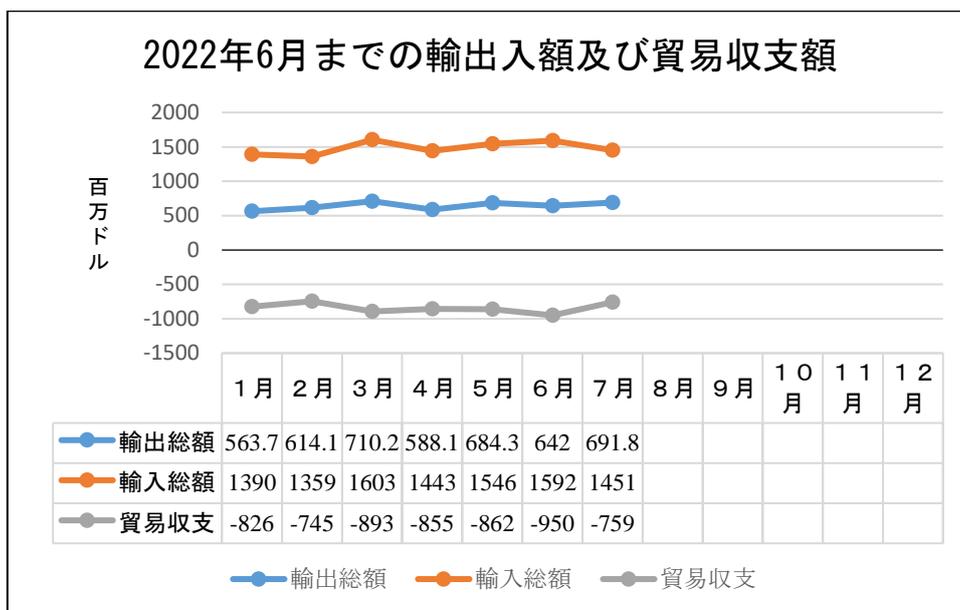
(3) ブケレ大統領は自身のSNSに英語及びスペイン語で、「今日、それぞれの取引時の市場価格に関係なく、透明かつ公的で、さらには自発的な(国債の)早期償還を2023年から2025年の国債保有者全員に提案するための資金確保として、2つの法案を議会に提出している。」や「マスメディアがこれまで報道したこととは反対に、当国は期限内の約束を全て履行するだけでなく、2025年までの国債を早期償還するための流動性も有している。」等のメッセージを投稿した。なお、ブケレ大統領は、手続き上の関係から早期償還は6週間後に開始される旨自身のSNSに投稿した。

7. 貿易総額

・2021年の輸出総額は66億2,880万ドル(前年比31.8%増)。輸入総額は150億7,592万ドル(前年比47.1%増)となった。



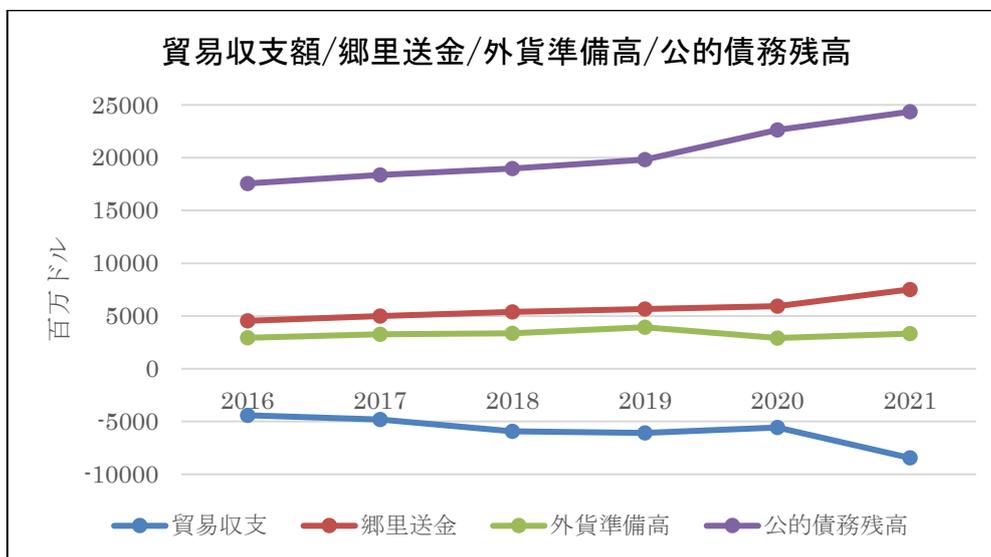
(エルサルバドル中銀データをもとに作成)



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

8. 貿易収支額・郷里送金・外貨準備高・公的債務残高

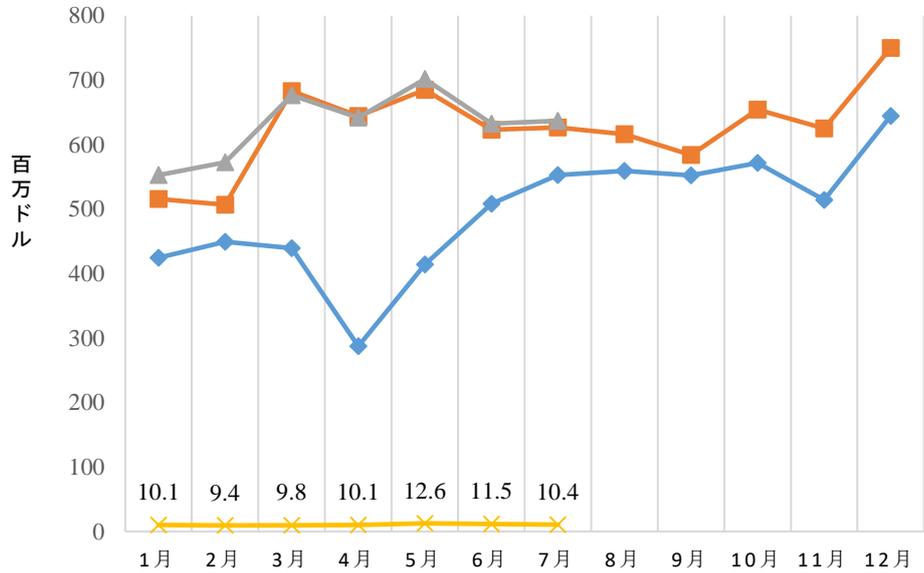
- ・ 2021年度の貿易収支額はマイナス84億4,720万ドルとなり、前年より赤字額が28億8,357万ドル拡大した。
- ・ 2021年の郷里送金額は75億1,710万ドルとなった。そのうち米国からの送金は全体の94.9% (71億3,050万ドル) を占めた。



(エルサルバドル中銀データをもとに作成)

郷里送金額推移表（2020年～2022年）

◆ 2020年 ■ 2021年 ▲ 2022年 ✕ 2022年（デジタルウォレット）

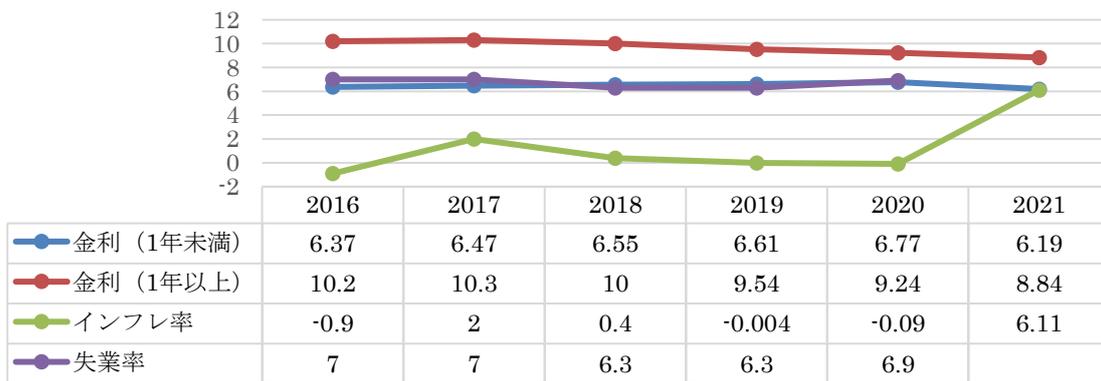


（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

9. 金利・インフレ率

・2021年のインフレ率はプラス6.11%であった。また2020年のインフレ率はマイナス0.09%であった。2020年の失業率は6.9%であった。

金利/インフレ率/失業率



◆ 金利（1年未満） ● 金利（1年以上） ● インフレ率 ● 失業率

（エルサルバドル中銀データをもとに作成）

治安

1. 殺人事件の急増を受けた憲法で保障される権利の一時的制限措置の期間延長

(1) 7月19日、国会は、憲法で保障される権利の一時的制限措置の30日間の期間再延長を承認した。

(2) 国民共和同盟 (ARENA) のポルティージョ会派長は、以前の期間延長を支持しなかったように、延長の動機となる原因がもはや存在しないため、今回の4回目の延長も支持しないとの考えを示していた。ファラブンド・マルティ民族解放戦線 (FMLN) は、テロリストとの戦いをさらに強化する同措置を支持せず、憲法で保障される権利の一時的制限措置が無実の人々を拘束し、権力の乱用が行われていると主張した。

(3) 3月27日からの憲法で保障される権利の一時的制限措置により、治安当局は、テロリストを46,600人以上拘束し、銃器1,100丁以上、麻薬約49,000グラム、携帯電話10,566台、車両1,314台、麻薬密売により得た100万ドル以上の現金を押収した。

2. 殺人事件の1日平均件数の減少について

(1) 7月15日の当地主要紙「ディアリオ・エルサルバドル」紙 (政府系) によれば、ブケレ政権の3年間で、殺人件数は大幅に減少した。政権開始時は、1日の平均殺人件数は9.5件であったが、本年は、5月21日までの1日の平均殺人件数は2.5件になり、73.7パーセントの減少となった。2020年6月から2021年5月までの殺人件数は、1,369件であったが、2021年6月から本年5月までの殺人件数は、960件であり、2年間で30パーセント減少した。また、2021年6月から本年5月までに、殺人事件が9パーセント減少した。これに関し、治安当局は、犯罪地域コントロール計画や憲法で保障される権利の一時的制限措置による治安対策の結果であると述べた。

(2) 人口10万人あたりの殺人件数は、FMLN政権時は平均103件であったが、犯罪地域コントロール計画を実施した3年間は、平均15件と大幅に減少した。

3. 中南米12か国を対象とした世論調査について

世論調査会社 CID Gallup 社の調査によれば、ブケレ政権下で実施されたギャングなどの犯罪組織に対する治安対策の結果、エルサルバドルはコスタリカ、メキシコ、コロンビアなどを上回る、中南米12か国で最も高い評価を得た。エルサルバドル国民の大多数が治安対策に賛同し、過去4か月間に犯罪被害に遭ったことがないと回答している。同社は、中南米12か国において、各国の国民1,200人を対象に、過去4か月間に強盗・暴力の被害に遭ったかを調査し、エルサルバドルでは、90パーセントが「いいえ」と回答した。これは、中南米12か国中、メキシコやコロンビアを上回る結果となった。この結果について、ブケレ大統領はSNS上で、「私たちは世界で最も危険な国であったが、ラテンアメリカで最も安全な国へと向かっている」と述べた。

参考：過去4か月間に強盗・暴力の被害に遭った割合

1	グアテマラ	53パーセント
2	ニカラグア	45パーセント
3	エクアドル	43パーセント
4	ペルー	34パーセント
5	メキシコ	32パーセント
6	コロンビア	32パーセント
7	ベネズエラ	30パーセント
8	ドミニカ共和国	25パーセント
9	ホンジュラス	22パーセント

- 10 パナマ 14 パーセント
- 11 コスタリカ 12 パーセント
- 12 エルサルバドル 10 パーセント

【観光地等における危険度レベル】

レベル 1: 十分注意区域	レベル 2: 不要不急の渡航中止区域
国立ダビッドJ・グスマン人類学博物館(MUNA)	サンサルバドル旧市街
ティン・マリン児童博物館	平生三郎公園
エルサルバドル美術館(MARTE)	プエルタ・デル・ディアブロ
プレシデンテ劇場	
サンサルバドル近郊のゴルフ場	
ベンゴア球場	
サンサルバドル市国立民芸品博物館	
クスカトラン・スタジアム	
サンサルバドル火山	
カフェタロン・フットサルコート	
ラ・リベルタ県のビーチ	
イロパンゴ湖	
サンタテクラ旧市街	
コアテペケ湖	
セロベルデ自然公園	
エル・ピタル山	
ラ・パルマ市	
サンタテレサ温泉	
ステット旧市街	
サンアンドレス遺跡	
タスマル遺跡	
カサブランカ遺跡	
サンタアナ旧市街	
オロメガ湖	
エル・ホコタル湖	
サンミゲル市	
オロクイルタ市	

	窃盗	強盗	傷害	殺人	行方不明者	恐喝	車両盗難	車両強盗	強姦	交通事故死	誘拐
2022年6月	501	144	210	25	41	168	43	15	221	73	0
2022年7月	593	147	246	17	46	138	58	15	178	106	0

